

平成30年度 財政状況資料集

総括表 (市町村)

都道府県名	北海道		市町村類型	政令指定都市	指定団体等の指定状況		区分	平成30年度(千円)	平成29年度(千円)	区分	平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)										
	財政健全化等	×			歳入総額	歳出総額							実質収支比率	1.0	1.5							
市町村名	札幌市		地方交付税種地	1-8	財源超過	×	歳入歳出差引	7,997,827	14,214,599	(※1)	(107.1)	(104.8)										
					首都	×	翌年度に繰越すべき財源	3,043,835	6,634,515	標準財政規模	513,570,466	509,473,410										
					近畿	×	実質収支	4,953,992	7,580,084	財政力指数	0.73	0.73										
					中部	×	単年度収支	-2,626,092	1,491,506	公債費負担比率	14.1	13.9										
人口	27年国調(人)	1,952,356	産業構造(※5)		過疎	×	積立金	791	708	健全化判断比率												
	22年国調(人)	1,913,545			山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-										
	増減率(%)	2.0			低開発	×	積立金取崩し額	0	0	連結実質赤字比率	-	-										
住民基本台帳人口(※7)	31.01.01(人)	1,955,457	第1次	27年国調	3,790	3,534	指数表選定	○	実質単年度収支	-2,625,301	1,492,214	将来負担比率	2.2	2.8								
	うち日本人(人)	1,941,969		0.5	0.5																	
	30.01.01(人)	1,952,348	第2次	118,503	118,904																	
	うち日本人(人)	1,940,035		15.4	15.2																	
	増減率(%)	0.2	第3次	645,868	658,853																	
	うち日本人(%)	0.1		84.1	84.3																	
面積(km ²)	1121.26																					
人口密度(人/km ²)	1,741																					
世帯数(世帯)	921,837																					
職員の状況																						
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	1,071,066,069	1,049,617,206											
	市区町村長	1	12,800		一般職員	10,587	31,570,434	2,982	うち公的資金	27,892,057	33,830,407											
	副市区町村長	3	10,300		うち消防職員	1,798	5,298,706	2,947	債務負担行為額(支出予定額)	155,901,855	177,694,524											
	教育長	1	8,300		うち技能労務職員	1,141	3,504,011	3,071	収益事業収入	4,904,508	5,167,512											
	議会議長	1	10,400		教育公務員	8,429	29,947,946	3,553	土地開発基金現在高	65,511,859	65,217,449											
	議会副議長	1	9,500		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	20,089,613	16,388,822											
	議会議員	66	8,600		合計	19,016	61,518,380	3,235	積立金現在高	1,255,834	1,276,201											
					ラスパイレズ指数				99.6	減債基金	40,193,155	40,538,292										
										その他特定目的基金												
一般会計等の一覧																						
項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法適)の一覧		項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧		項番	組合等名	関係する一部事務組合等一覧		項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧		項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(6)	駐車場会計	(10)	病院事業会計	(16)	北海道市町村備荒資金組合	(20)	(公財)札幌市中小企業共済センター													
(2)	土地区画整理会計	(7)	国民健康保険会計	(11)	中央卸売市場事業会計	(17)	札幌広域圏組合	(21)	(一財)札幌市住宅管理公社													
(3)	母子父子寡婦福祉資金貸付会計	(8)	後期高齢者医療会計	(12)	軌道事業会計	(18)	北海道後期高齢者医療広域連合	(22)	(一財)さっぽろ水道サービズ協会													
(4)	基金会計	(9)	介護保険会計	(13)	高速電車事業会計	(19)	石狩西部広域水道企業団	(23)	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会													
(5)	公債会計	(14)	水道事業会計	(15)	下水道事業会計	(24)	(一財)札幌産業流通振興協会	(25)	(一財)札幌市下水道資源公社													
						(26)	(一財)さっぽろ健康スポーツ財団	(27)	(公財)札幌市公園緑化協会													
						(28)	(一財)札幌勤労者職業福祉センター	(29)	(公財)札幌市芸術文化財団													

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				地方税の状況 (単位 千円・%)				歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
地方税	325,864,999	33.0	298,383,934	64.4	普通税	292,674,518	89.8	3,415,613	議会費	1,824,294	0.2	-	1,824,277
地方譲与税	5,422,093	0.5	5,422,093	1.2	法定普通税	292,674,518	89.8	3,415,613	総務費	45,727,848	4.7	2,823,628	36,369,748
利子割交付金	381,140	0.0	381,140	0.1	市町村民税	163,198,856	50.1	-	民生費	415,137,899	42.4	6,765,772	180,079,343
配当割交付金	513,608	0.1	513,608	0.1	個人均等割	3,274,619	1.0	-	衛生費	51,623,290	5.3	4,998,041	30,705,284
株式等譲渡所得割交付金	443,549	0.0	443,549	0.1	所得割	130,318,118	40.0	-	労働費	607,690	0.1	-	523,662
分離課税所得割交付金	313,218	0.0	313,218	0.1	法人均等割	6,995,288	2.1	-	農林水産業費	733,187	0.1	12,102	669,149
道府県民税所得割臨時交付金	3,367,705	0.3	3,367,705	0.7	法人税割	22,610,831	6.9	3,415,613	商工費	66,585,432	6.8	135,576	6,112,274
地方消費税交付金	39,611,286	4.0	39,611,286	8.6	固定資産税	112,542,255	34.5	-	土木費	130,222,340	13.3	61,536,434	85,083,999
ゴルフ場利用税交付金	85,076	0.0	85,076	0.0	うち純固定資産税	112,162,824	34.4	-	消防費	19,163,721	2.0	2,326,335	18,565,966
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	2,223,719	0.7	-	教育費	155,280,172	15.9	28,613,302	118,306,073
自動車取得税交付金	1,147,947	0.1	1,147,947	0.2	市町村たばこ税	14,709,688	4.5	-	災害復旧費	1,381,224	0.1	-	51,272
軽油引取税交付金	7,746,001	0.8	7,746,001	1.7	鉦産税	-	-	-	公債費	84,798,825	8.7	-	81,238,043
地方特例交付金	1,672,987	0.2	1,672,987	0.4	特別土地保有税	-	-	-	諸支出金	5,878,368	0.6	233,360	4,360,601
地方交付税	104,610,644	10.6	100,127,972	21.6	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-
普通交付税	100,127,972	10.1	100,127,972	21.6	目的税	33,190,481	10.2	-	歳出合計	978,964,290	100.0	107,444,550	563,889,691
特別交付税	4,481,972	0.5	-	-	法定目的税	33,190,481	10.2	-					
震災復興特別交付税	700	0.0	-	-	入湯税	408,322	0.1	-					
(一般財源計)	491,180,253	49.8	459,216,516	99.2	事業所税	8,716,707	2.7	-					
交通安全対策特別交付金	644,605	0.1	644,605	0.1	都市計画税	24,065,452	7.4	-					
分担金・負担金	5,207,141	0.5	-	-	水利地益税等	-	-	-					
使用料	11,828,132	1.2	2,179,467	0.5	法定外目的税	-	-	-					
手数料	9,320,806	0.9	13,191	0.0	旧法による税	-	-	-					
国庫支出金	219,792,608	22.3	-	-	合計	325,864,999	100.0	3,415,613					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	55,972	0.0	55,972	0.0									
都道府県支出金	49,105,762	5.0	-	-									
財産収入	11,963,404	1.2	766,743	0.2									
寄附金	898,549	0.1	-	-									
繰入金	2,873,761	0.3	-	-									
繰越金	10,388,572	1.1	-	-									
諸収入	78,848,685	8.0	249,144	0.1									
地方債	94,853,867	9.6	-	-									
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-									
うち臨時財政対策債	55,916,000	5.7	-	-									
歳入合計	986,962,117	100.0	463,125,638	100.0									

区分	平成30年度	平成29年度
徴収率	99.5	98.8
現・計	99.3	98.3
(%)	99.8	99.3
市町村民税	99.3	98.3
純固定資産税	99.8	99.3

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	102,248,831	実質収支	837,100
下水道	19,994,066	再差引収支	-3,686,079
病院	6,428,784	加入世帯数(世帯)	264,374
交通	5,645,008	被保険者数(人)	374,958
市場	1,011,345	被保険者	保険税(料)収入額 88
国民健康保険	19,889,613	1人当り	
その他	49,280,015	被保険者	保険給付費

区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	551,220,381	56.3	311,813,586	309,258,246	59.6
人件費	163,479,724	16.7	140,614,462	138,125,788	26.6
うち職員給	119,636,615	12.2	98,402,529	-	-
扶助費	303,489,325	31.0	90,508,574	90,442,298	17.4
公債費	84,251,332	8.6	80,690,550	80,690,160	15.5
元利償還金	84,251,191	8.6	80,690,409	80,690,019	15.5
うち元金	73,405,004	7.5	70,369,629	70,369,239	13.6
うち利子	10,846,187	1.1	10,320,780	10,320,780	2.0
一時借入金利子	141	0.0	141	141	0.0
その他の経費	318,918,135	32.6	207,605,168	186,803,768	36.0
物件費	89,654,973	9.2	66,707,031	61,495,205	11.8
維持補修費	31,491,909	3.2	28,047,337	27,941,887	5.4
補助費等	61,431,167	6.3	55,124,572	46,036,569	8.9
うち一部事務組合負担金	139,131	0.0	139,131	139,131	0.0
繰出金	68,291,668	7.0	55,474,041	50,635,745	9.8
積立金	2,382,945	0.2	321,949	-	-
投資・出資金・貸付金	65,665,473	6.7	1,930,238	694,362	0.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	108,825,774	11.1	44,470,937	-	-
うち人件費	1,644,016	0.2	906,999	-	-
普通建設事業費	107,444,550	11.0	44,419,665	-	-
うち補助	37,129,214	3.8	3,867,262	-	-
うち単独	69,583,153	7.1	40,479,220	-	-
災害復旧事業費	1,381,224	0.1	51,272	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	978,964,290	100.0	563,889,691	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

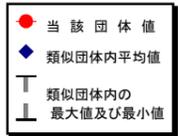
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	988,526	981,070	7,456	4,476	2,964	1,287,079	
2 土地区画整理会計	457	457	-	-	241	-	
3 母子父子寡婦福祉資金貸付会計	447	55	393	328	-	1,174	
4 基金会計	2,411	2,262	149	149	-	-	
5 公債会計	374,923	374,923	-	-	193,695	-	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成30年度

北海道札幌市

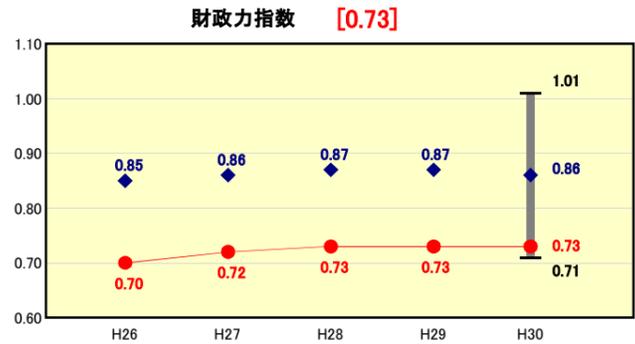
人口	1,955,457	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,941,969	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	1,121.26	km ²	実質公債費比率	2.2	%
歳入総額	986,962,117	千円	将来負担比率	57.3	%
歳出総額	978,964,290	千円	市町村類型	H26 政令市 H27 政令市 H28 政令市	
実質収支	4,953,992	千円	(年度毎)	H29 政令市 H30 政令市	
標準財政規模	513,570,466	千円			
地方債現在高	1,071,066,069	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力

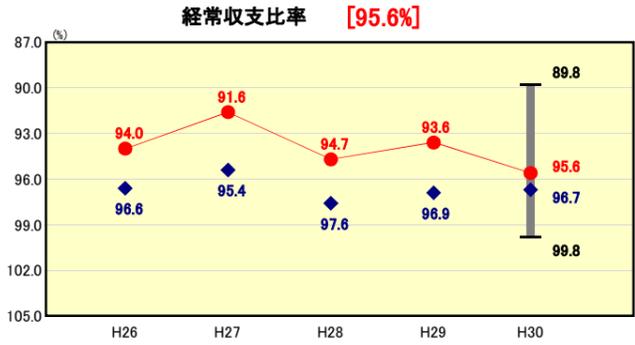
類似団体内順位 17/20 全国平均 0.51 北海道平均 0.27



財政力指数の分析欄
 消費税率の引き上げに伴う地方消費税交付金の増のほか、個人市民税や固定資産税の増により、財政力指数は上昇傾向にある。ただ、類似団体と比較すると収税が少ないことから、類似団体の平均である0.86を下回っており、企業誘致や民間再開発の促進により税源の涵養を図るなど、財政基盤の強化に努めていく。

財政構造の弾力性

類似団体内順位 7/20 全国平均 93.0 北海道平均 92.3



経常収支比率の分析欄
 少子化等への対応のため、扶助費が増加(平成26年度と比べ382億円の増)している。また、札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015における行財政運営の取り組み(人件費の見直し等)を進めた結果、類似団体平均96.7%を下回る95.6%と類似団体内中7位となっている。本市では、現在、生産年齢人口は減少傾向にあり、さらに、今後数年のうちに総人口が減少に転じ、一層少子高齢化が進むと予測されている。扶助費等の経常的支出の増加や、公共施設の老朽化に伴う施設更新費用の増加による公債費の増加が見込まれることから、引き続き健全な行財政運営の取組を回り、財政構造の弾力性向上に努めていく。

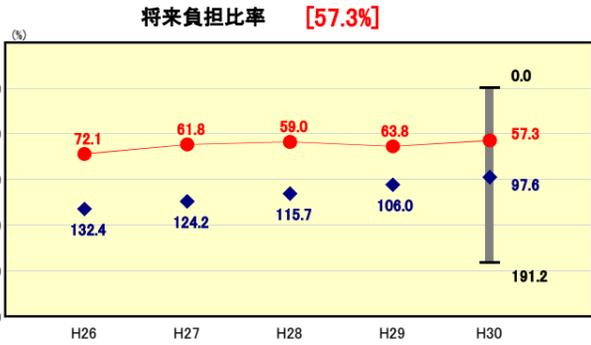
人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 2/20 全国平均 132,793 北海道平均 172,513



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 維持補修費には、類似団体ではほとんど行われていない多額の除雪費(平成30年度決算214億円)が含まれているものの、人件費の見直し等経費の縮減に努めたことにより、類似団体平均150,703円を下回る140,250円と類似団体内で2番目に低くなっている。特に人件費については、効率的な職員配置に努めてきたことにより類似団体平均を大幅に下回っている。今後も引き続き効率的な職員配置等による人件費の見直しや物件費の抑制に努めていく。

将来負担の状況

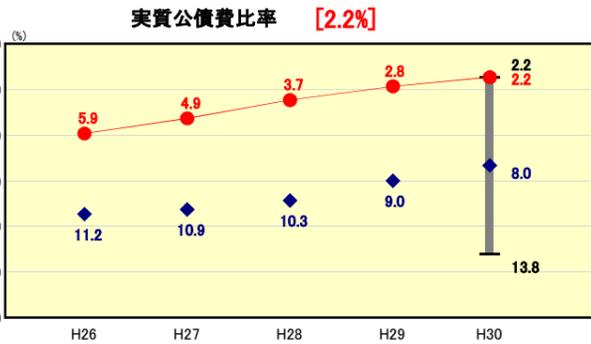


類似団体内順位 8/20 全国平均 28.9 北海道平均 48.4

将来負担比率の分析欄
 元利償還に対する繰入見込の減による公営企業債等繰入見込額の減により、類似団体平均97.6%を下回る57.3%と、類似団体内中8位となっている。今後も、本市の将来を見据えた真に必要な分野には積極的に投資を行う一方、世代間の負担の平準化を考慮しつつ、将来世代に過度の負担を残さない財政運営を継続していく。

公債費負担の状況

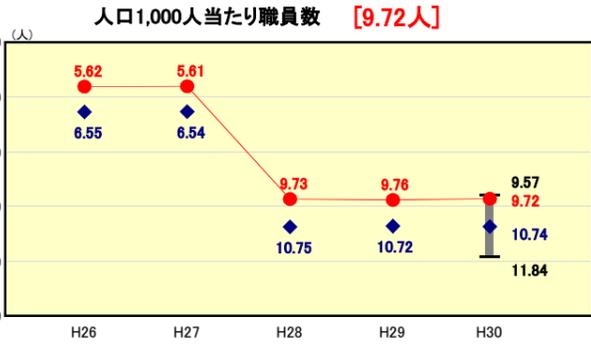
類似団体内順位 1/20 全国平均 6.1 北海道平均 7.1



実質公債費比率の分析欄
 平成30年度単年度の比率は、元利償還金(定時償還元金)及び準元利償還金(満期一括償還積立金)が増加しているとともに、基準財政需要算入額の減少により、平成29年度単年度の比率と比べ、0.59ポイント増加している。しかし、昨年度の算定に用いられた平成27年度単年度の比率3.98%が平成30年度単年度の比率2.38%に置き換わったことから、平均値が減少し、類似団体平均8.0%を下回る2.2%と類似団体内で最も低くなっている。今後も、本市の将来を見据え、真に必要な分野には積極的に投資を行う一方、世代間の負担の平準化に考慮しつつ、将来世代に過度の負担を残さない財政運営を継続していく。

定員管理の状況

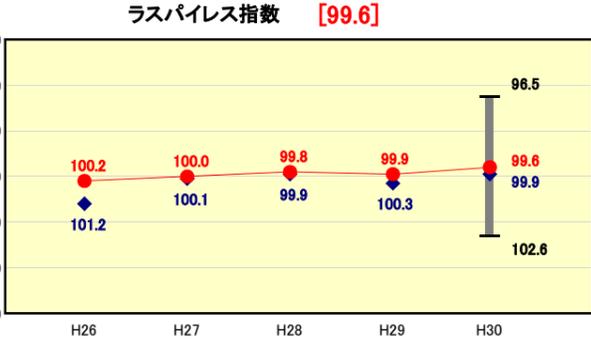
類似団体内順位 3/20 全国平均 7.95 北海道平均 9.97



人口1,000人当たり職員数の分析欄
 札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015における行財政運営の取組(内部管理業務の簡素化や委託などによる業務効率化等)を継続し、効率的な職員配置等に努めてきたことにより、類似団体平均10.74人を下回る9.72人と類似団体内中3番目に低くなっている。今後は、高齢者の増加に伴い、保健福祉など人的資源が必要な分野における業務増の可能性のあるものの、民間活力の導入や、行政の役割が低下した分野の見直しなど、引き続き適切な定員管理に努めていく。

給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 5/20 全国市平均 98.9 全国町村平均 96.3



ラスパイレース指数の分析欄
 札幌市においては、市内民間企業の給与水準との均衡を維持するため、人事委員会勧告に基づく給与の改定を行っており、ラスパイレース指数は類似団体平均99.9を下回る99.6と類似団体内中5番目に低くなっている。今後も人事委員会勧告に基づき、給与水準の適正化に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

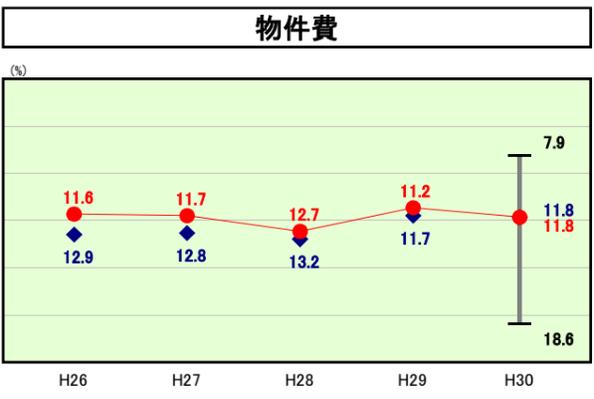
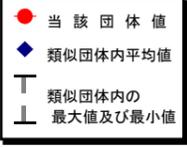
平成30年度

北海道札幌市

経常収支比率の分析

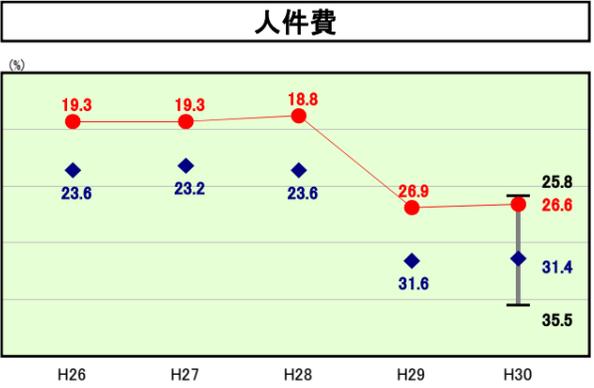
人口	1,955,457	人(H31.1.1現在)	-	%
うち日本人	1,941,969	人(H31.1.1現在)	-	%
面積	1,121.26	km ²	2.2	%
歳入総額	986,962,117	千円	57.3	%
歳出総額	978,964,290	千円		
実質収支	4,953,992	千円		
標準財政規模	513,570,466	千円		
地方債現在高	1,071,066,069	千円		
実質赤字比率	-	%		
連結実質赤字比率	-	%		
実質公債費比率	2.2	%		
将来負担比率	57.3	%		
市町村類型	H26 政令市	H27 政令市	H28 政令市	
(年度毎)	H29 政令市	H30 政令市		

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



物件費の分析欄

物件費は、札幌市民交流プラザの開設に向けた準備や開設後の運営管理費等により平成29年度に比べ約41億円の増となっているが、類似団体平均11.8と同値であり、また類似団体内8番目に低くなっている。
 今後も引き続き物件費の縮減に努めていく。



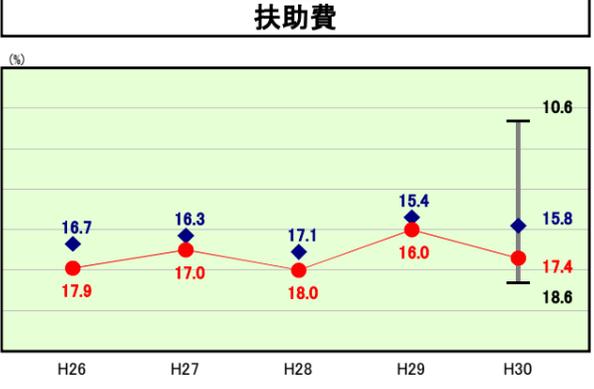
人件費の分析欄

札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015における行財政運営の方針等に基づき、人件費の見直しを進めた結果、類似団体平均31.4を下回る26.6と類似団体内2位となっている。
 今後も、限られた人材の効率的・効果的な職員配置を行うとともに人事委員会勧告の状況を注視し、より適正な人件費になるよう努めていく。



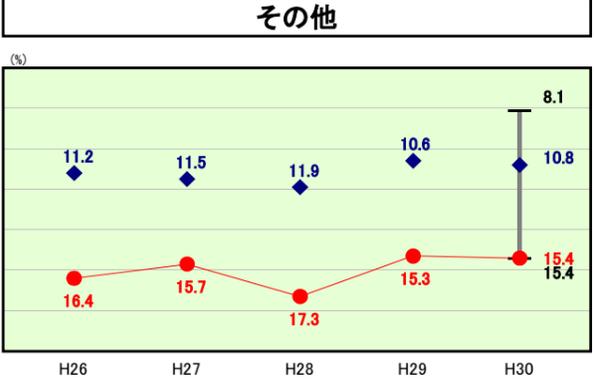
補助費等の分析欄

企業立地促進費等が増えたものの、企業会計への元利償還金繰出金等の減により前年度より減少し0.2ポイント改善した。
 今後も企業会計への元利償還金繰出金等の減少が想定されるが、更なる事業の見直し等により、経費の縮減に努めていく。



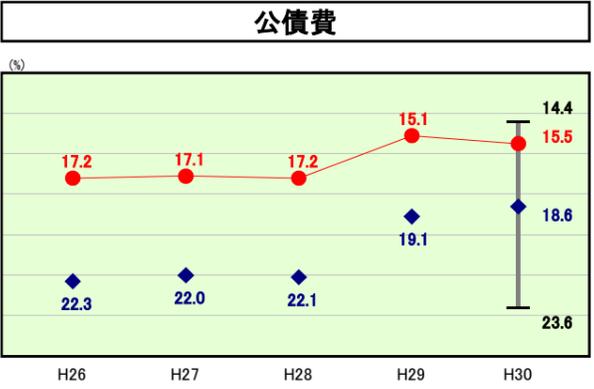
扶助費の分析欄

扶助費は、類似団体平均15.8を上回る17.4と類似団体内16位となっている。29年度と比較して126億円の増となっているが、近年の高齢化等による社会福祉費、児童福祉費の増加傾向に変化が見られず、高い水準で推移している(扶助費は平成26年度と比べ382億円の増)。
 今後も、少子化等への対応のため、財政需要はさらに拡大することが想定されるが、持続可能な財政運営に努めていく。



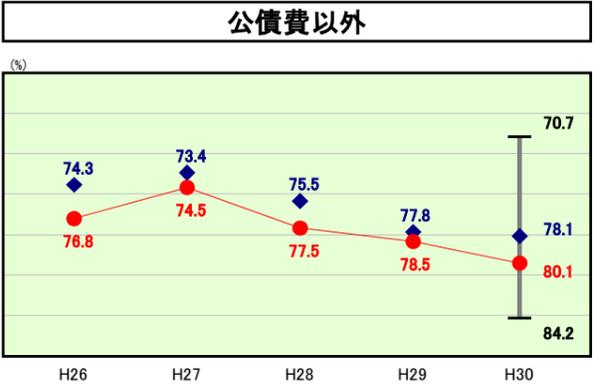
その他の分析欄

類似団体ではほとんど行われていない除雪費(平成26年度決算から順に196億円、178億円、226億円、208億円、214億円)が含まれていることや、国民健康保険会計・介護保険会計への繰出金、後期高齢者療養給付費負担金等の増加等により類似団体の中で最も高い比率となっている。
 今後も労務単価の増などにより、この傾向は続くことが見込まれるため、引き続き事業の見直し等により、経費の縮減に努めていく。



公債費の分析欄

公債費は、類似団体平均の18.6を下回る15.5と類似団体内4番目に低くなっている。行財政改革による継続した建設債の発行額縮減等により、建設債の元利償還金が減少し、平成22年以降公債費は減少している。平成29年度は県費負担教職員の権限移譲に伴い経常一般財源が増加したため、前年度から2.1ポイントの減となったが、平成30年度は償還時期を迎えた市債の増に伴い0.4ポイントの増となった。今後は、公共施設の老朽化に伴う更新費用の増加により公債費の増加が想定されているため、引き続き、本市の将来を見据えた真に必要な分野への投資を行う一方、世代間の負担の平準化を考慮しつつ、将来世代に過度の負担を残さない財政運営に努めていく。



公債費以外の分析欄

人件費や補助費等が改善傾向にある中、それ以上に、類似団体ではほとんど行われていない除雪費により、類似団体平均78.1に対して80.1と類似団体内14位となっている。
 今後も引き続き事業の見直し等により、経費の縮減に努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

北海道札幌市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

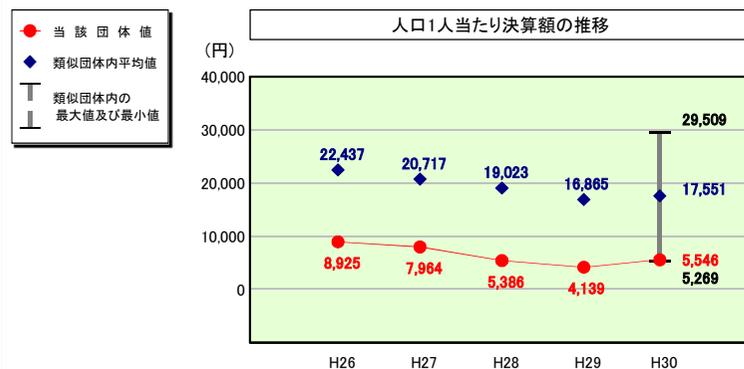
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	163,479,724	83,602	103,123	▲ 18.9
賃金 (物件費)	1,575,588	806	1,485	▲ 45.7
一部事務組合負担金 (補助費等)	26,285	13	130	▲ 90.0
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	2,684,387	1,373	1,206	▲ 13.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	45,177	23	5	360.0
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	3,819,393	1,953	1,897	3.0
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	1,644,016	841	1,181	▲ 28.8
▲退職金	▲ 12,018,622	▲ 6,146	▲ 7,816	▲ 21.4
合計	161,255,948	82,465	101,211	▲ 18.5

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	9.72	10.74	▲ 1.02
ラスパイレス指数	99.6	99.9	▲ 0.3

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

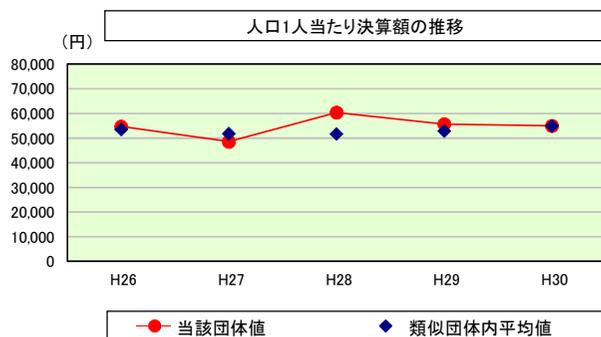


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	27,386,796	14,005	32,293	▲ 56.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	2,903	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	43,689,297	22,342	20,757	7.6
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	18,778,132	9,603	11,103	▲ 13.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	186	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	277,123	142	1,195	▲ 88.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲ 21,804,732	▲ 11,151	▲ 17,395	▲ 35.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 57,481,128	▲ 29,395	▲ 33,490	▲ 12.2
合計	10,845,488	5,546	17,551	▲ 68.4

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H26	105,994,012	54,749	20.5	53,572	5.4	15.1
うち単独分	64,034,449	33,075	39.9	25,259	11.8	28.1
H27	94,304,836	48,565	▲ 11.3	51,898	▲ 3.1	▲ 8.2
うち単独分	58,005,902	29,872	▲ 9.7	25,986	2.9	▲ 12.6
H28	117,569,719	60,370	24.3	51,684	▲ 0.4	24.7
うち単独分	72,314,716	37,132	24.3	26,671	2.6	21.7
H29	108,741,376	55,698	▲ 7.7	52,897	2.3	▲ 10.0
うち単独分	69,429,392	35,562	▲ 4.2	27,013	1.3	▲ 5.5
H30	107,444,550	54,946	▲ 1.4	54,945	3.9	▲ 5.3
うち単独分	69,583,153	35,584	0.1	29,293	8.4	▲ 8.3
過去5年間平均	106,810,899	54,866	4.9	52,999	1.6	3.3
うち単独分	66,673,522	34,245	10.1	26,844	5.4	4.7

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

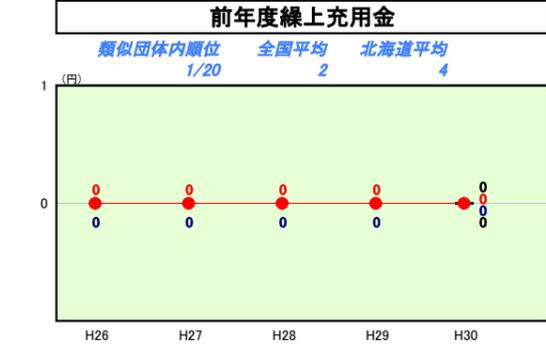
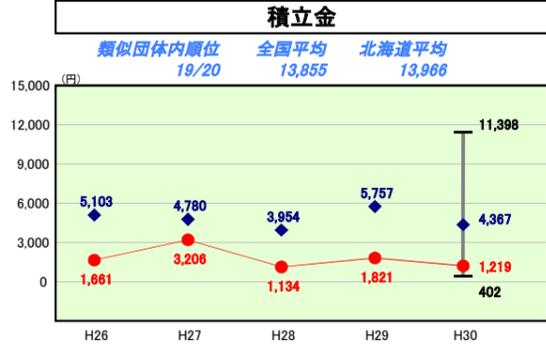
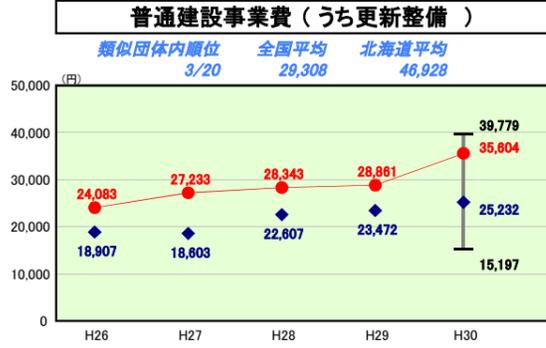
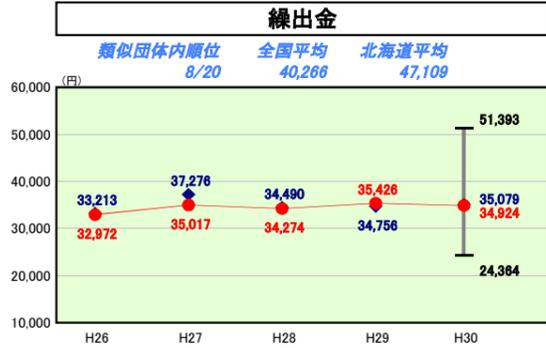
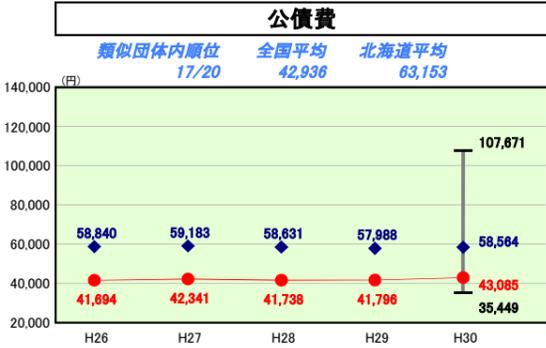
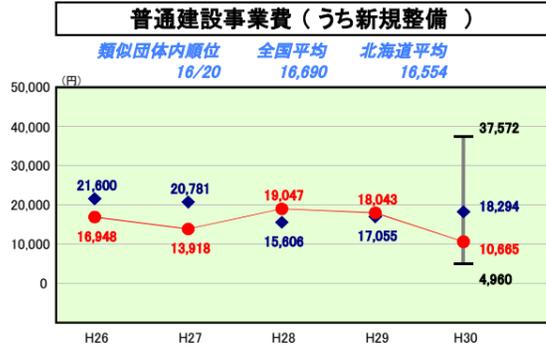
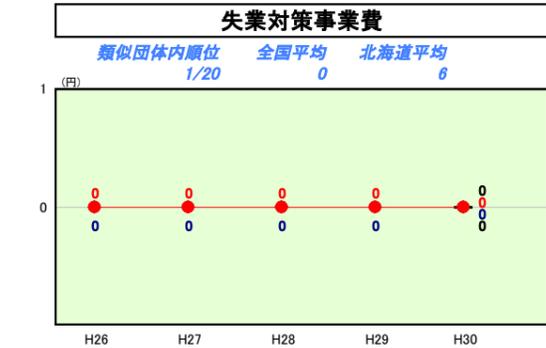
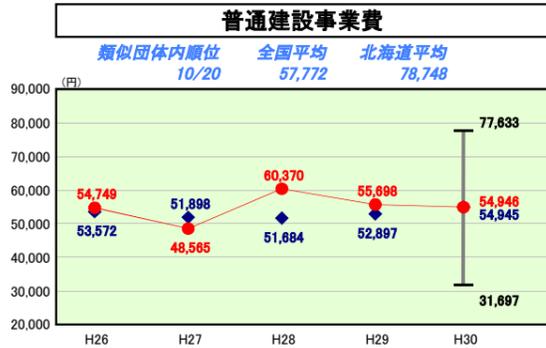
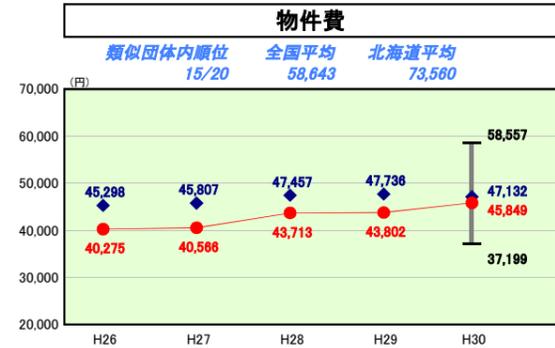
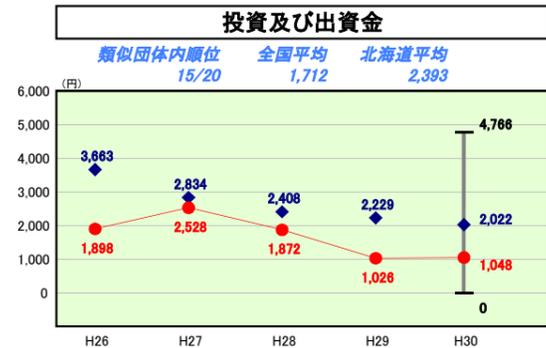
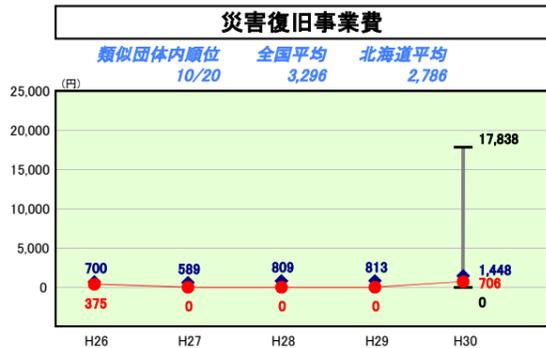
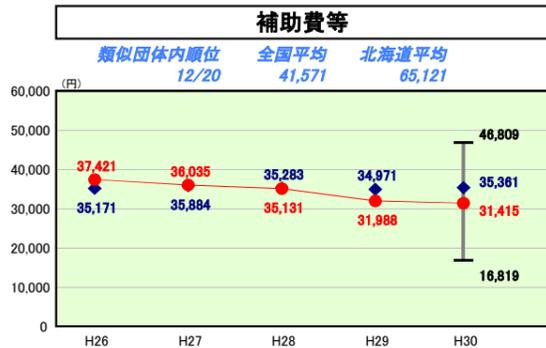
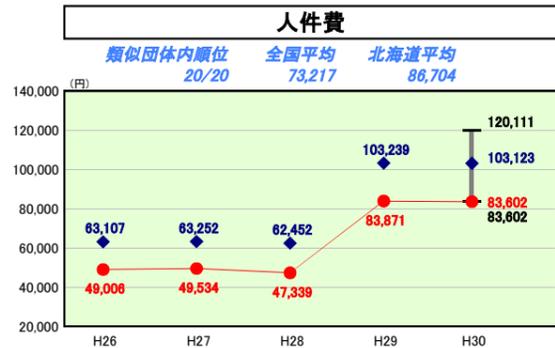
平成30年度

北海道札幌市

人口	1,955,457人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	1,941,969人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	1,121.26km ²	実質公債費比率	2.2%
歳入総額	986,962,117千円	将来負担比率	57.3%
歳出総額	978,964,290千円	市町村類型	H26 政令市 H27 政令市 H28 政令市
実質収支	4,953,992千円	(年度毎)	H29 政令市 H30 政令市
標準財政規模	513,570,466千円		
地方債現在高	1,071,066,069千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

歳出決算総額は、住民一人当たり500,632円となっている。主な構成項目のうち、人件費や物件費はそれぞれ住民一人当たり83,602円、45,849円となっており、類似団体内一人当たりコストは低く推移している。特に人件費については、引き続き、限られた人材の効率的・効果的な職員配置に努めるとともに、人事委員会勧告に基づく給与改定により職員給料は減少し、総額では平成26年度より75億円減少(県費負担教職員除く)していることが要因である。

一方、維持補修費については住民一人当たり16,105円と類似団体内中最も高くなっているが、他類似団体ではほとんど行われてない除雪費が含まれていることが要因であり、直近5年の決算額は平成26年度から順に211億円、178億円、226億円、208億円、214億円となっている。

また、扶助費についても住民一人当たり155,201円と類似団体内2位と負担が大きくなっており、平成26年度から13.25%(18,162円)の増となっている。これは、近年の厳しい社会情勢や高齢化、障がい者施策の充実等による社会福祉費や児童福祉費の増加傾向に変化が見られず、高い水準で推移していることが要因である(平成26年度より382億円の増)。今後も、少子高齢化等により財政需要はさらに拡大することが想定されるが、将来世代に過度の負担を残さない持続可能な財政運営に努めていく。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

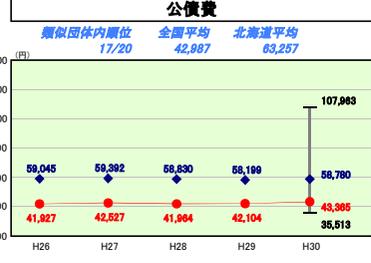
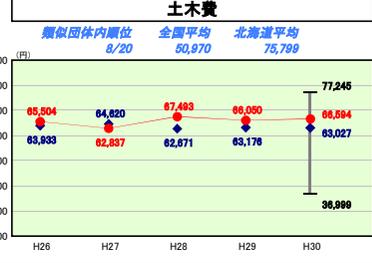
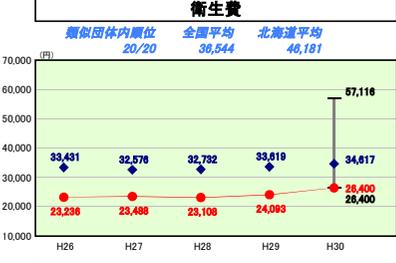
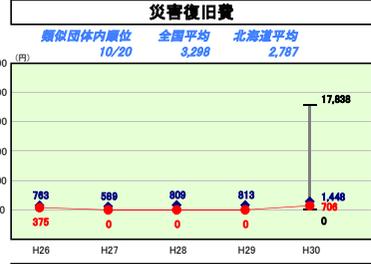
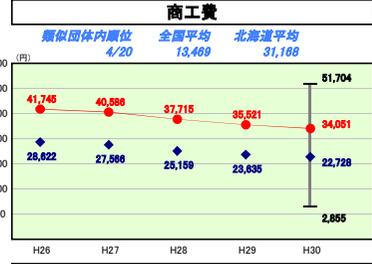
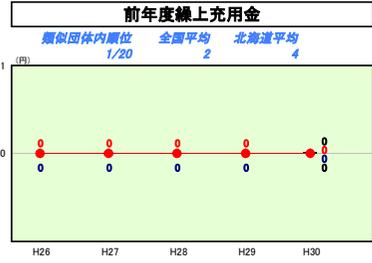
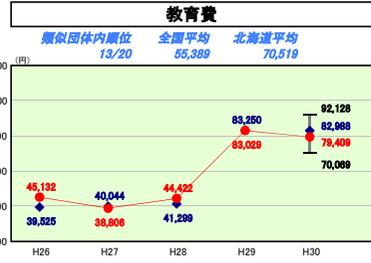
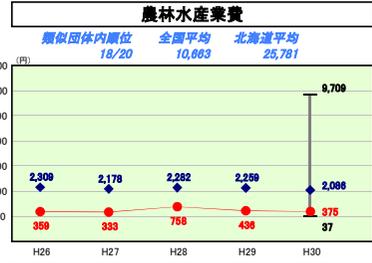
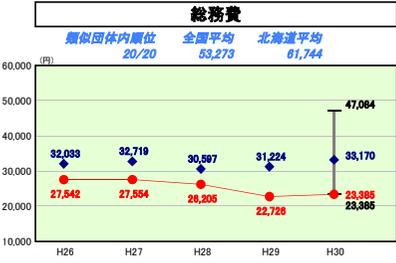
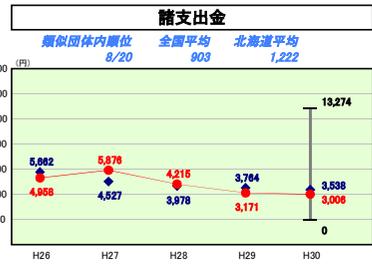
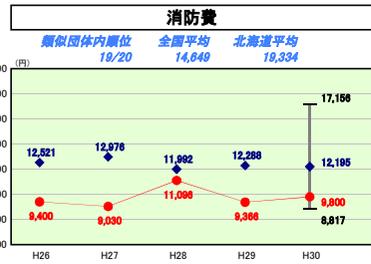
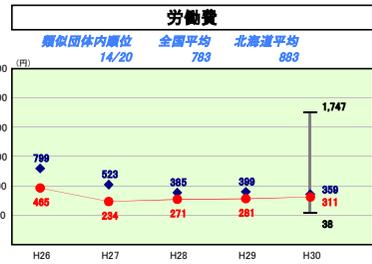
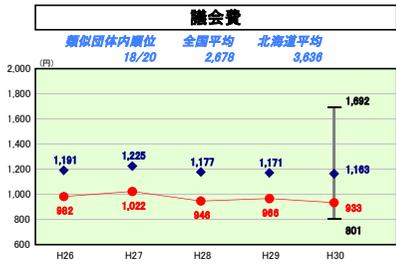
平成30年度

北海道札幌市

人口	1,955,457人(H31.1.1現在)	実赤字比率	-%
うち日本人	1,941,969人(H31.1.1現在)	通算実赤字比率	-%
面積	1,121.26km ²	実公債費比率	2.2%
歳入総額	986,962,117千円	将来負担比率	57.3%
歳出総額	978,964,290千円	市町村類型	H26 政令市 H27 政令市 H28 政令市
実収支	4,953,992千円	(年度毎)	H29 政令市 H30 政令市
標準財政規模	513,570,466千円		
地方債現在高	1,071,066,069千円		

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

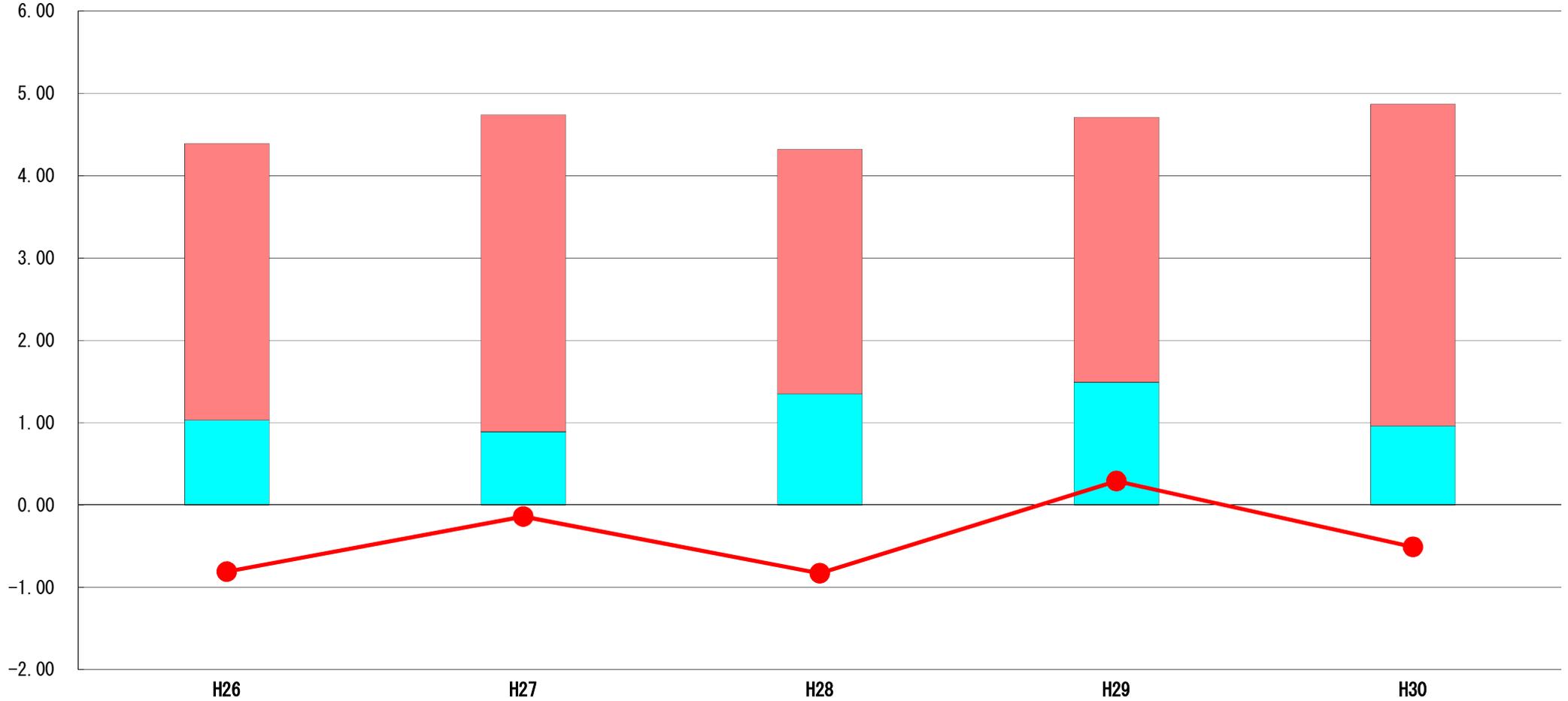
主な構成項目のうち、総務費、衛生費、公債費についての平成30年度決算一人当たりコストは各々23,385円、26,400円、43,365円となっており、平成26年度からの推移を見ても、概ね横ばいとなっており類似団体中一人当たりコストは比較的低い傾向にある。
一方、民生費は、住民一人当たり212,297円となっており、民生費のうち児童福祉費の伸びが大きく、平成26年度と比べ219億の増となっている。平成29年度との比較でも69億増加しており、民生費全体、ひいては一人当たりコストを押し上げる要因となっている。今後も、少子高齢化等により財政需要はさらに拡大することが想定されるなか、将来世代に過度の負担を残さない持続可能な財政運営に努めていく。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成30年度

北海道札幌市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30
 財政調整基金残高		3.36	3.85	2.97	3.22	3.91
 実質収支額		1.03	0.89	1.35	1.49	0.96
 実質単年度収支		▲ 0.81	▲ 0.14	▲ 0.83	0.29	▲ 0.51

分析欄

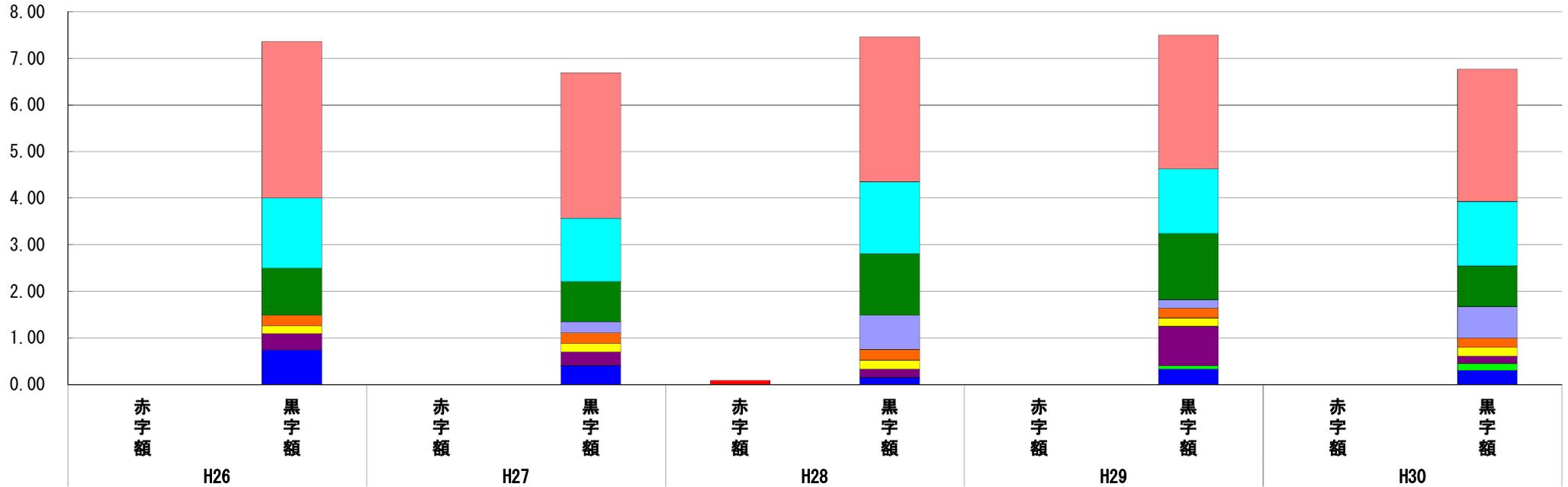
標準財政規模は市税の増等により、前年度から約41億円の増となった。
 財政調整基金残高は、剰余金の積み立てにより、前年度より約37億円の増となったが、近年、概ね同水準で推移している。
 実質単年度収支額は、前年度約15億円に対し約▲26億円と悪化している。
 その結果、実質単年度収支は平成29年度より0.8ポイント悪化し、▲0.51%となった。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成30年度

北海道札幌市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H26	H27	H28	H29	H30
水道事業会計		3.36	3.12	3.11	2.87	2.84
下水道事業会計		1.50	1.36	1.54	1.39	1.39
一般会計		1.01	0.86	1.32	1.42	0.87
介護保険会計		0.00	0.24	0.74	0.18	0.67
中央卸売市場事業会計		0.23	0.23	0.23	0.21	0.20
後期高齢者医療会計		0.17	0.18	0.19	0.18	0.19
国民健康保険会計		0.35	0.29	0.18	0.85	0.16
高速電車事業会計		0.00	0.00	0.00	0.07	0.15
その他会計（赤字）		-	-	▲ 0.09	-	-
その他会計（黒字）		0.74	0.41	0.15	0.33	0.30

分析欄

一般会計は、教育費や土木費の翌年度繰越が増加したことなどにより、黒字幅が減少している。
 介護保険会計は、歳出において保険給付費等が予算計上額を下回ったことにより、黒字幅が増加している。
 国民健康保険会計は、歳入において道支出金が17億円、繰入金が10億円、予算計上額を下回ったことなどにより、黒字幅が減少している。
 今後も健全な財政運営に努めていく。

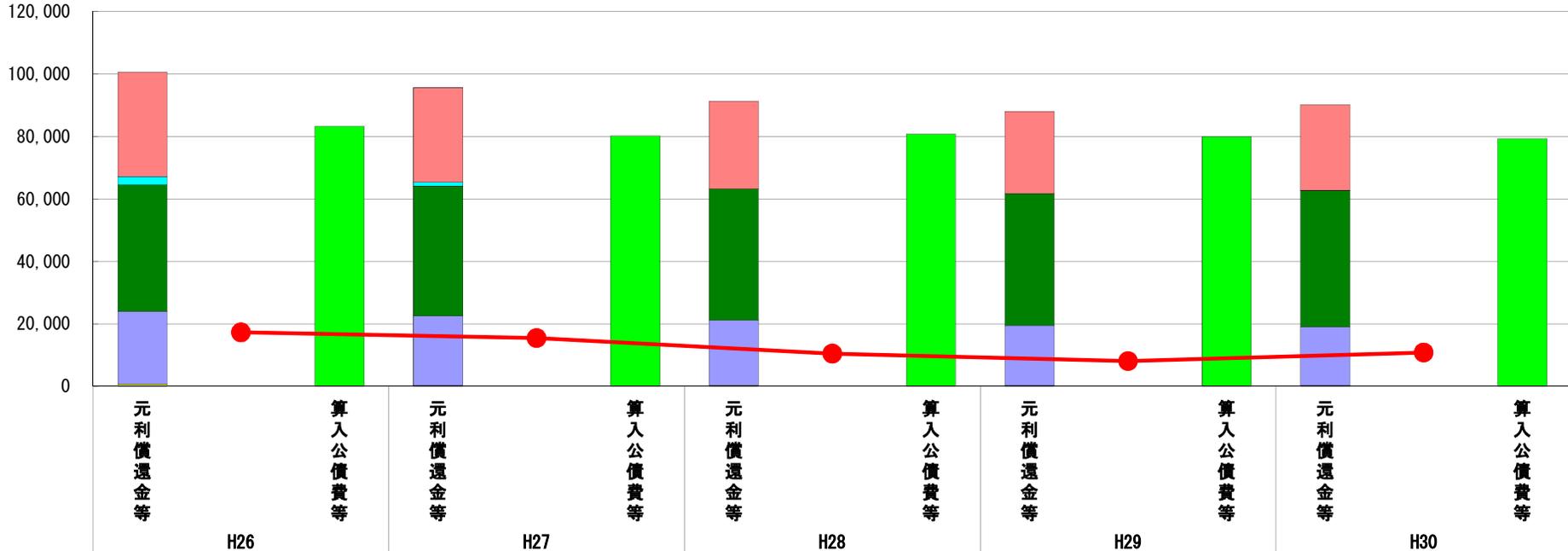
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

北海道札幌市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
元利償還金等 (A)	元利償還金		33,356	30,219	28,063	26,266	27,387
	減債基金積立不足算定額※2		2,694	1,339	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		40,536	41,523	42,069	42,254	43,689
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		23,272	22,259	20,829	19,218	18,778
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		703	293	339	282	277
	一時借入金の利子		0	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		83,282	80,167	80,811	79,939	79,286
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		17,279	15,466	10,489	8,081	10,845

分析欄

定時償還元金及び満期一括償還積立金が増加していることに加え、基準財政需要算入額が減少したことにより、実質公債費比率の分子は前年度比で28億円増加している。

今後、老朽化したインフラや公共施設の更新需要への対応が本格化することを見据えると、後年時の公債費も増加していくことが見込まれることから、中長期的な視点を持ったうえで、建設事業費の平準化や総量の抑制による建設債の圧縮などにより、将来にわたってバランスの取れた財政運営に努めていく。

※1 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
(参考)

		年度	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高(注)		135,315	155,180	171,864	185,284	200,283
	減債基金積立相当額		150,026	162,204	169,217	177,881	185,973

分析欄

平成23年度から減債基金からの借入れは行っておらず、基金借入金残高は減少し続けており、平成28年度（平成27年度末残高）には積立不足は解消されている。

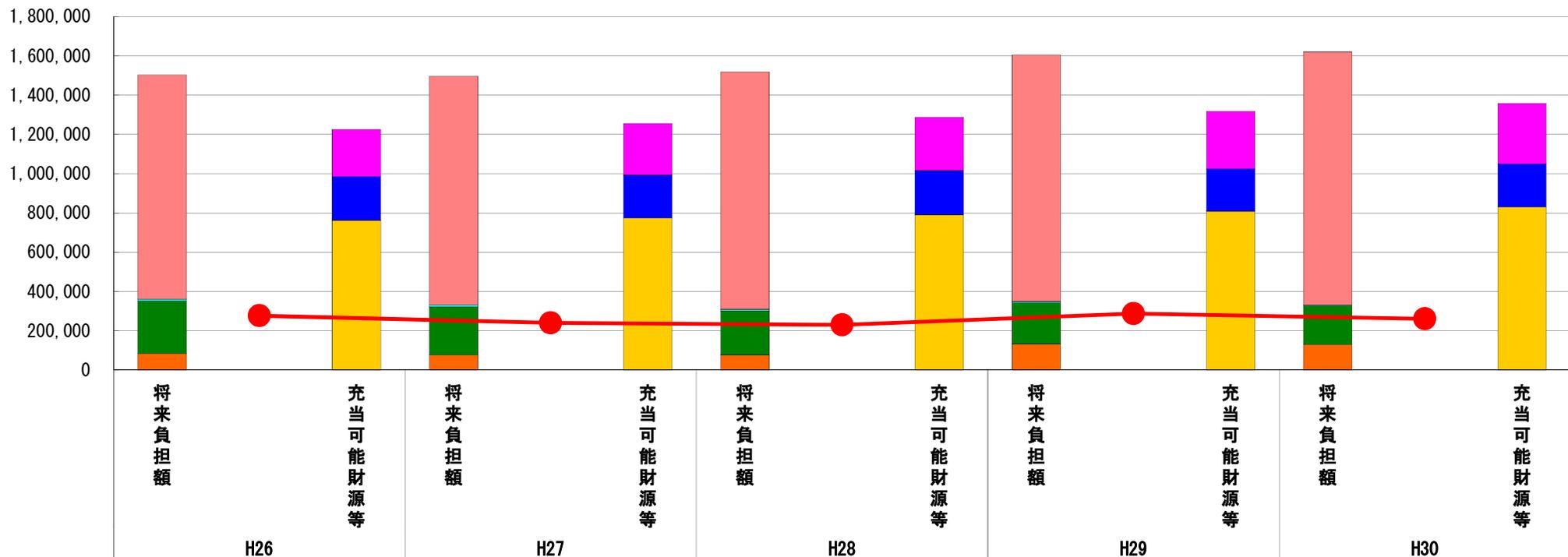
(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

（百万円）

平成30年度

北海道札幌市



（百万円）

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,140,714	1,164,043	1,207,997	1,254,520	1,288,253
	債務負担行為に基づく支出予定額		10,052	9,022	8,039	7,068	1,144
	公営企業債等繰入見込額		267,746	244,694	225,258	209,947	199,669
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		82,166	76,493	75,072	131,012	128,609
	設立法人等の負債額等負担見込額		1,764	1,917	1,746	1,570	1,678
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		239,482	262,474	271,958	290,861	308,211
	充当可能特定歳入		224,332	218,700	224,645	215,578	218,671
	基準財政需要額算入見込額		761,590	774,559	790,799	809,708	831,126
(A) - (B)	将来負担比率の分子		277,038	240,435	230,709	287,969	261,344

分析欄

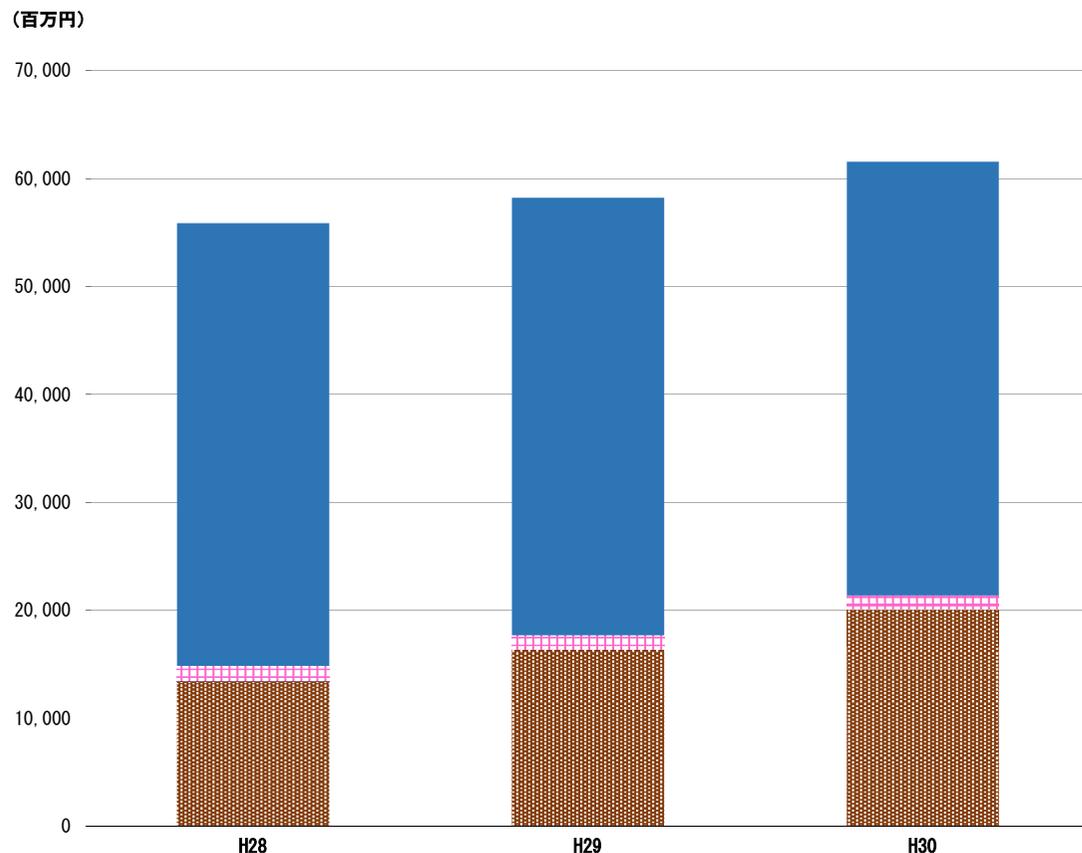
公営企業会計の元金償還が進んでいることなどにより公営企業債等繰入見込額は減少している。（平成26年度に比べて681億円の減）。

また、減債基金において、満期一括償還準備金の取崩しを上回る積立があったことなどにより、充当可能基金は増（平成26年度に比べて687億円の増）となり、将来負担比率の分子は減少している。

今後も健全な財政運営に努めていく。

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	H28	H29	H30
財政調整基金		13,388	16,389	20,090
減債基金		1,440	1,276	1,256
その他特定目的基金		41,020	40,538	40,193
まちづくり推進基金		23,314	22,037	21,947
オリンピック・パラリンピック基金		3,002	4,003	4,004
スポーツ振興基金		1,968	2,272	2,338
霊園基金		2,477	2,375	2,270
奨学基金		1,978	2,001	2,022
基金残高合計		55,847	58,203	61,539

平成30年度

北海道札幌市

基金全体

（増減理由）

・財政調整基金に決算剰余金を37億円積み立てたこと等により、基金全体としては33億円の増となった。

（今後の方針）

・中期的な財政見通しを踏まえ、今後発生する様々な行政課題に対応していくため、基金の適切な管理を行い、活用について検討していく。

財政調整基金

（増減理由）

・決算剰余金を37億円積み立てたことによる増加

（今後の方針）

・札幌市アクションプラン2019の「財政運営の取組」の中で、アクションプラン最終年度である令和4年度末の残高について、少なくとも100億円以上の水準を維持することとしている。
 ・財政調整基金は、年度間の財政の不均衡を調整するためのものであり、今後の災害対応や除雪費への備えとして、一定程度の残高は維持する必要があるものと認識している。

減債基金

（増減理由）

・公債費償還のための取崩に伴う減少

（今後の方針）

・減債基金の残額については、公債費償還の財源として取り崩していくこととする。

その他特定目的基金

（基金の用途）

・まちづくり推進基金：公園、学校その他の都市施設の整備、団地造成事業の円滑な運営、都市活性化のための諸事業の推進に資する。
 ・オリンピック・パラリンピック基金：冬季オリンピック・パラリンピックの招致及び開催のための事業に資する。

（増減理由）

・まちづくり推進基金：保有する土地を売却した際の評価損益による減少（H28→H29：△1億円、H29→H30：△14億円）
 ・オリンピック・パラリンピック基金：冬季オリンピック・パラリンピックの招致及び開催のため、平成28年度に10億円を積み立てたことによる増加

（今後の方針）

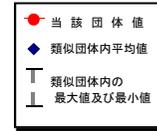
・まちづくり推進基金：今後の都市基盤の整備など、将来のまちづくりを見据えた取組などへの活用を検討していく。
 ・オリンピック・パラリンピック基金：冬季オリンピック・パラリンピックに係る施設整備等のため、財政状況を勘案しながら100億円程度を積み立てる。

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

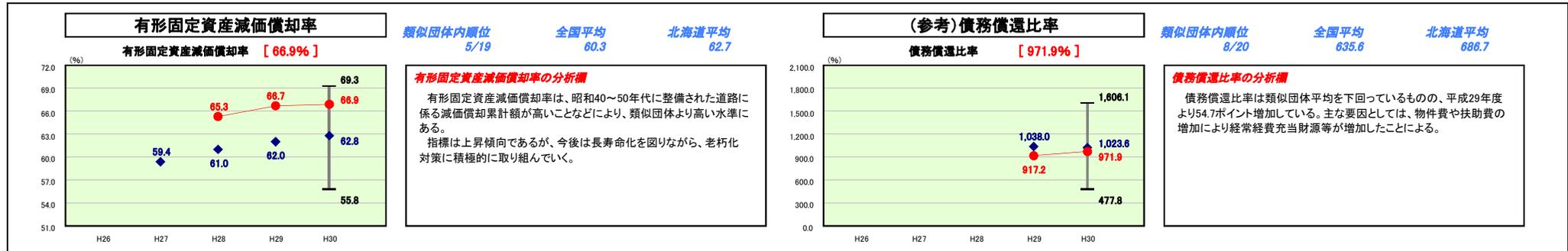
平成30年度

北海道札幌市

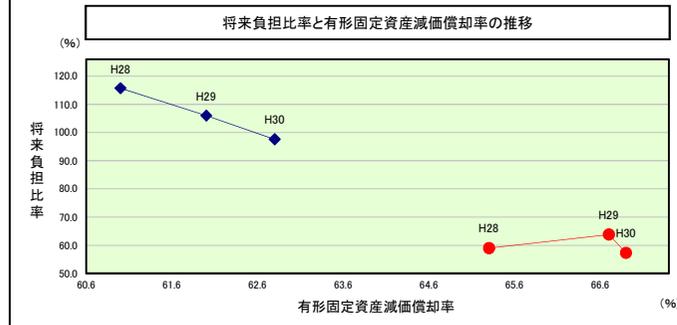
人口	1,955,457人	(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,941,969人	(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	1,121.26	km ²	実質公債費比率	2.2	%
歳入総額	986,962,117	千円	将来負担比率	57.3	%
歳出総額	978,964,290	千円	市町村類型	H26 政令市	H27 政令市
実質収支	4,953,992	千円	(年度毎)	H29 政令市	H30 政令市
標準財政規模	513,570,466	千円			
地方債現在高	1,071,066,069	千円			



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

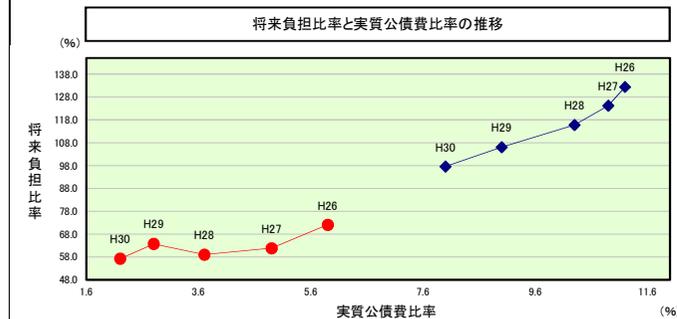


分析欄
企業債の元利償還が進み、公営企業債等繰入見込額が減となったこと等により、将来負担比率が減少している。また、有形固定資産減価償却率は類似団体より高い水準にあり、主な要因としては、昭和40～50年代に整備された道路に係る減価償却累計額が高いことによるもの。今後は長寿命化を図りながら老朽化対策に積極的に取り組んでいく。

(参考)

	H26	H27	H28	H29	H30	
当該団体値	将来負担比率			59.0	63.8	57.3
	有形固定資産減価償却率			65.3	66.7	66.9
類似団体内平均値	将来負担比率			115.7	106.0	97.6
	有形固定資産減価償却率			61.0	62.0	62.8

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄
将来負担比率及び実質公債費比率ともに、類似団体と比較して低い水準にある。平成30年度においては、元利償還に対する繰入見込の減による公営企業債等繰入見込額の減により、将来負担比率が低下している。また、平成30年度単年度の実質公債費比率は、元利償還金(定時償還元金)及び準元利償還金(満期一括償還積立金)が増加しているとともに、基準財政需要算入額の減少により、平成29年度単年度の比率と比べ、0.59ポイント増加している。しかし、昨年度の算定に用いられた平成27年度単年度の比率3.98%が平成30年度単年度の比率2.38%に置き換わったことから、平均値としての実質公債費比率は低下している。今後も、本市の将来を見据えた真に必要な分野には積極的に投資を行う一方、世代間の負担の平準化を考慮しつつ、将来世代に過度な負担を残さない財政運営を継続していく。

(参考)

	H26	H27	H28	H29	H30	
当該団体値	将来負担比率	72.1	61.8	59.0	63.8	57.3
	実質公債費比率	5.9	4.9	3.7	2.8	2.2
類似団体内平均値	将来負担比率	132.4	124.2	115.7	106.0	97.6
	実質公債費比率	11.2	10.9	10.3	9.0	8.0

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

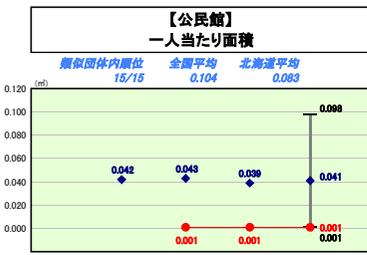
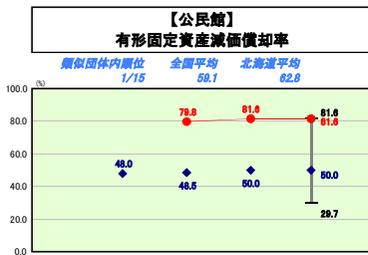
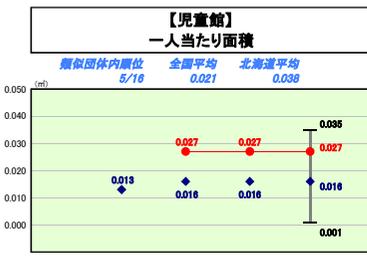
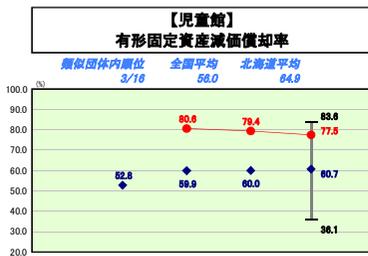
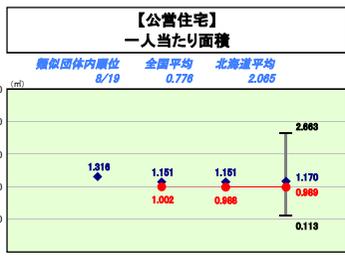
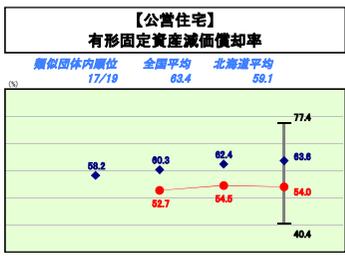
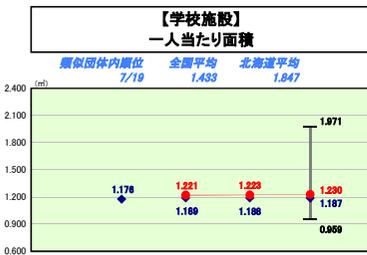
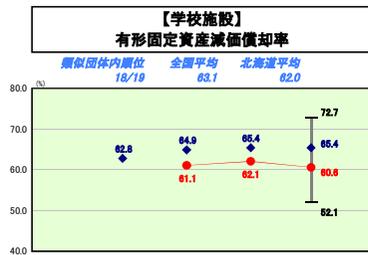
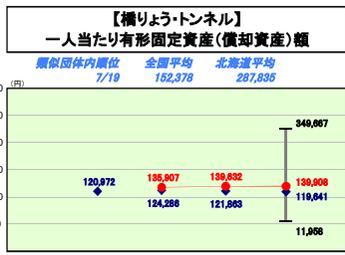
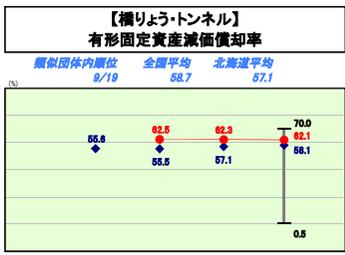
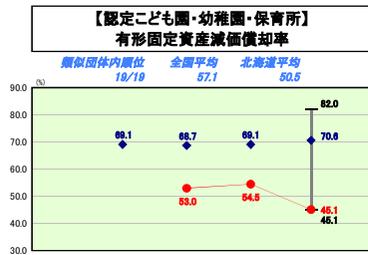
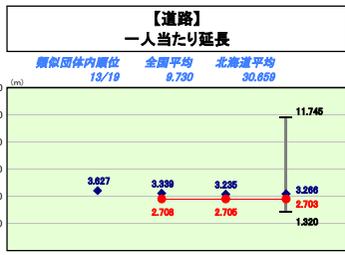
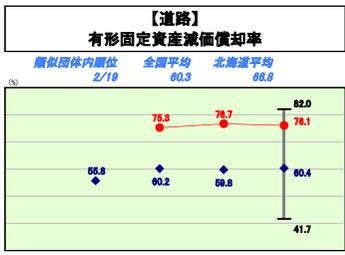
平成30年度

北海道札幌市

人口	1,955,457	人(331.1.1推定)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,841,989	人(331.1.1推定)	運転実質赤字比率	-	%
面積	1,121.28	km ²	実質公債費比率	2.2	%
歳入総額	986,982,117	千円	将来負担比率	57.3	%
歳出総額	978,964,290	千円	市町村類型	H26 政令市 H27 政令市 H28 政令市	
実質収支	4,953,992	千円	(年度毎)	H29 政令市 H30 政令市	
標準財政規模	513,570,466	千円			
地方債残高	1,071,066,069	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同レベルに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析値
 類似団体と比較して特に有形固定資産減価償却率が高い施設類型は、道路、児童館、公民館であり、特に低くなっているのは認定こども園・幼稚園・保育所である。
 道路については、近年数値が高止まりしているが、計画的な維持・補修によって長寿命化を図るなど、老朽化対策に取り組んでいる。
 前年度と比較し、認定こども園・幼稚園・保育所の有形固定資産減価償却率が大きく下がっている理由については、保育・子育て支援センターを1箇所新設したことによるものである。
 公民館の一人当たりの面積が、他都市と比較して特に低いのは、これは本市の市民の活動拠点となる施設ほとんどが類型上は市民会館(分析表②参照)に分類されていることによるものである。
 二つの施設類型を合わせて考えた場合、一人当たりの面積は類似団体と比較して充実していると言える。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

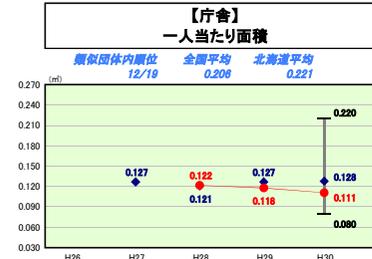
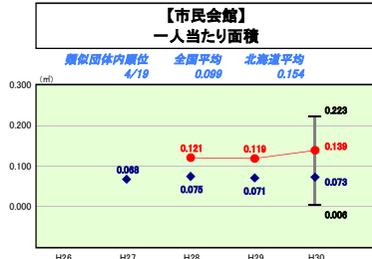
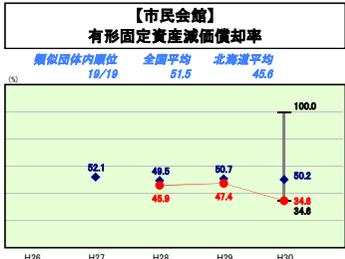
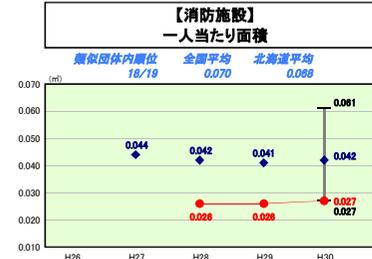
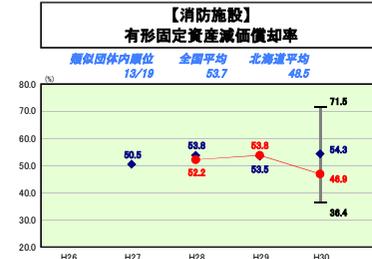
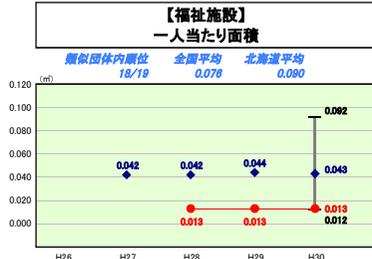
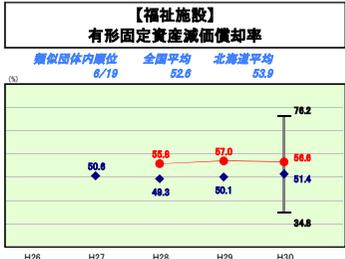
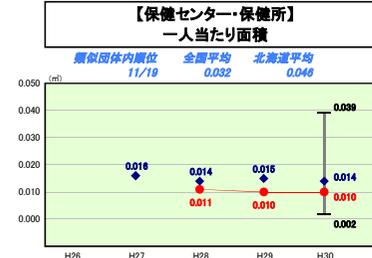
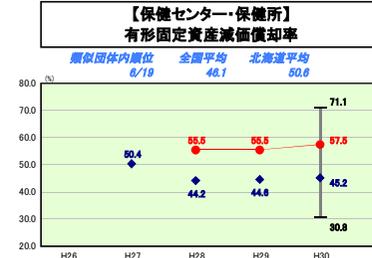
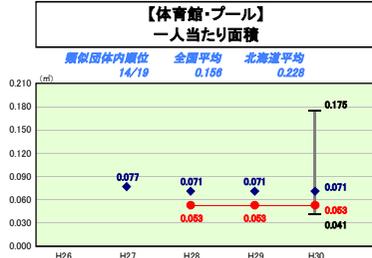
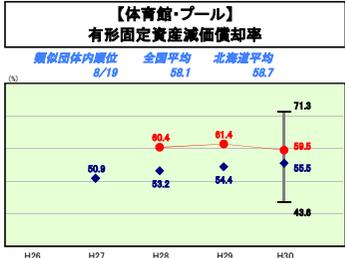
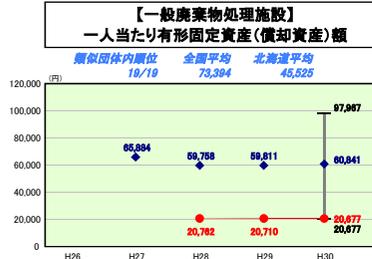
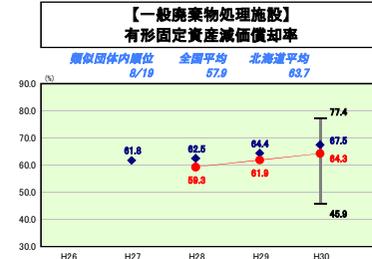
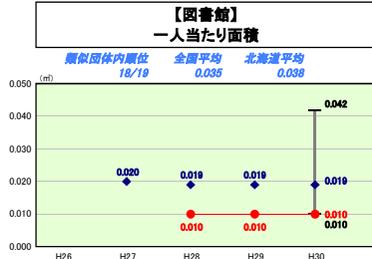
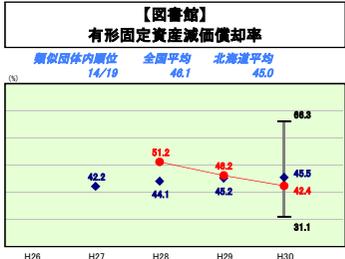
平成30年度

北海道札幌市

人口	1,955,457	人(31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,841,989	人(31.1.1現在)	運転実質赤字比率	-	%
世帯数	1,121,28	krf	実質公債費比率	2.2	%
歳入総額	986,982,117	千円	将来負担比率	57.3	%
歳出総額	979,964,290	千円	市町村類型	H26 政令市 H27 政令市 H28 政令市	
実質収支	4,953,992	千円	(年度毎)	H29 政令市 H30 政令市	
標準財政規模	513,570,466	千円			
地方債残高	1,071,066,069	千円			



※ 市町村類型と、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析値
 半数以上の施設類型について、有形固定資産減価償却率は類似団体と比較して同程度かそれ以下であるが、保健センター・保健所については、類似団体平均と比べて特になら高くなっている。これは、築後30年を経過した施設が半数以上を占めているためであるが、今後庁舎等の建替えに合わせた建替えや複合化が進む予定である。また、有形固定資産減価償却率が大きく低下している類型がいくつかあるが、それぞれ要因は以下のとおりである。
 ・図書館・図書情報館の新設・消防施設:消防局庁舎の大規模改修実施・市民会館:市民交流プラザの新設